

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後デイサービス すまいるネクスト		
○保護者評価実施期間	R7年 4月 1日		～ R8年 1月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	27人	(回答者数) 18人
○従業者評価実施期間	R7年 4月 1日		～ R8年 1月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9人	(回答者数) 9人
○事業者向け自己評価表作成日	R8年 2月 9日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	一人ひとりの「やってみたい」「挑戦してみたい」という気持ちを大切に、その思いを尊重した支援を行っています。個々の興味や得意なこと目に向け、自己表現や成功体験につながるよう支援しています。	日々の関わりの中で子どもの興味や関心を丁寧にくみ取り、活動内容や関わり方を柔軟に工夫しています。また、職員間で情報共有を行い、一人ひとりにあった関わりができるよう意識して支援に取り組んでいます。	今後は「やりたい」「挑戦してみたい」という思いをより具体的な目標や活動につなげられるよう、振り返りや話し合いの機会を大切にしていきます。また、保護者との連携を深めながら、より多様な体験や選択肢を提供できるよう取り組みを充実させていきます。
2	調理や買い物実習、施設外活動など、日常生活や社会生活につながる体験的な活動に力を入れています。実際の体験を通して子どもが楽しみながら生活力や社会性を身につけられるよう支援しています。	成長過程や特性に応じて、役割や関わり方を工夫し、無理なく参加できるよう配慮しています。また、成功体験を積み重ねられるよう、小さな目標を設定しながら意欲的に取り組んでいきます。	今後は、活動内容の幅を広げるとともに、振り返りの機会を大切に、学びや気づきを次に活動につなげていきます。引き続き、「できた」という経験を増やせるよう、活動の充実を図っていきます。
3	同一グループ内の他施設と日頃から連携を図り、子どもが次の施設へ移行する際にも、これまでの支援内容や配慮事項を丁寧に引き継いでいることが強みです。環境の変化による不安をできるだけ軽減し、継続性のある支援につなげています。	同一グループ内の他施設と定期的に情報共有を行い、子どもの特性やこれまでの支援内容、配慮事項を丁寧に行うよう工夫しています。移行時には子どもや保護者の不安を軽減できるよう、事前の連携や確認を意欲的に、継続性のある支援につなげていきます。	より早い段階から他施設との連携を進めるとともに、引き継ぎ内容や方法についてもその都度見直しを行っていきます。また、職員同士の意見交換の機会を増やし、より質の高い連携と切れ目のない支援の実現を目指していきます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	活動内容によって、子どもによる好みや関心の違いが大きく、全員が同じ満足度を得ることが難しい点があります。活動への参加意欲に差がでることもあり、工夫が必要な状況です。	年齢や発達段階、興味・関心の幅が広く、同じ活動であっても受け止め方や満足度に差が生じやすいことが要因と考えています。また、集団活動が中心となる場合は、一人ひとりの希望を十分に反映しきれない場合があることも課題の一因です。	活動内容に選択肢を持たせることや、役割分担・参加方法、事前説明の工夫などすることで、それぞれの興味やペースに応じた参加ができるよう取り組んでいきます。活動後振り返りを行い、満足度の向上に繋がっていきます。
2	大部屋を設けたことで集団活動が行いやすくなった一方、音や人の多さが気になりやすい子どもにとっては、落ち着いて過ごしにくい場面が生じることがあります。	特性やその日の状況に応じた空間の使い分けについて、職員間での判断や共有が十分でない場合があり、環境整備が個々の対応に委ねられてしまうことが課題の一因です。	今後は、大部屋と個室それぞれの活用目的を明確にし、活動内容や子どもの状況に応じた使い分けができるよう整理していきます。また、職員間での情報共有や振り返りを行い、子どもが安心して過ごせる環境づくりにつなげていきます。
3			